

春の叙勲・褒章

●瑞宝単光章

こくぼただお
小久保忠夫さん(70歳)

元下館市消防団副分団長

鷹場町

昭和31年から平成16年までの47年間、消防団の一員として災害現場の第一線で活躍。また近代消防の機動力強化に貢献されました。「昭和38年に発生した、下館駅前のデパート火災が今でも忘れられません。木造の大きな建物でしたので、天を焦がすような炎が上がり、隣接する建物への延焼を防ぐことに必死でした」と当時の苦労の様子を振り返ってくれました。



●瑞宝双光章

つる よしたか
鶴 義孝さん(60歳)

元「上の原学園」支援員

横塚

昭和46年から平成18年までの34年間、桜川市にある、知的障害児施設「上の原学園」で支援員として、児童福祉の向上に努めました。「力不足で何度も挫折しそうになりましたが、私を必要としてくれる子どもたちがいたおかげで頑張ってくれました。私たちの仕事は、子どもたちの心の声を聞いてあげること。これからも子どもたちの育成に力をそそぎたい」と力強く話してくれました。



●瑞宝単光章

やまもと しょうぞう
山本 正蔵さん(75歳)

元農林水産技官

辻

昭和20年から平成3年までの46年間、家畜の飼養管理、改良増殖などに寄与されました。「生産者が育てやすく、また、消費者のみなさんが求める、おいしくて、安心・安全な豚を長年研究してきました。生き物が相手ですから、苦労の連続でしたが、このたび叙勲をいただき、家族ともども大変うれしく思っています」と受章の喜びを語ってくれました。



●瑞宝単光章

たみや はじめ
田宮 一さん(61歳)

元防衛庁技官

鷹場町

昭和36年から平成17年までの44年間、陸上自衛隊古河補給処で災害現場などに使われる施設や機材を整備してきました。「私たちの仕事は、イラクやゴラン高原などで任務にあたっている海外派遣隊に機材を提供する後方支援。現地の仲間たちが任務を無事遂行できることを願いながら、常に緊張感をもって仕事をしてきました。評価されてうれしいです」と喜びを語ってくれました。



●藍綬褒章

おおよし たもつ
大吉 保さん(82歳)

元農林業センサス調査員

村田

昭和25年の世界農林業センサスから平成17年まで連続12回調査に従事。また、消防団や青少年相談委員など地域と行政の発展のために寄与されました。「このたび藍綬褒章をいただき大変光栄に思っております。長い間、何事もなく無事に務めを果たせたのは、多くのみなさんのご支援とご協力のたまものです。ありがとうございました」と受章の喜びを語ってくれました。



●藍綬褒章

まつもと
松本きよ子さん(63歳)

鉱工業動態統計調査員

玉戸

昭和56年から25年間にわたり、統計調査に従事。また、更生保護婦人会や国際交流など、地域の福祉向上に貢献されました。「仕事を引き受けたときはとても不安でした。回答を拒否されたこともありました。しかし、専業主婦の私が、広く世間を知り、忍耐強く一つの仕事を成し遂げる喜びを経験できました。今回、このような評価をいただき、みなさまに感謝します」と話してくれました。



平成18年春の叙勲・褒章が発表されました。筑西市からは、叙勲に瑞宝双光章が1人、瑞宝単光章が3人、褒章では藍綬褒章に2人が選ばれました。受章したみなさんを紹介します。



■こどもの日柔剣道大会を開催

5月3日・4日、下館総合体育館で、『第47回こどもの日 柔剣道大会』を開催しました。大会には、栃木や千葉、神奈川など関東近県から柔剣道あわせて232チーム、約1,250人の選手が参加。市内のチームでは、柔道女子で下館中が優勝、明野中・下館西中が第3位、剣道女子で関城中が優勝、下館中が第3位となりました。

■筑西市統計大会で功労者を表彰



5月19日、コミュニティプラザで、『第2回筑西市統計大会』を開催しました。大会では、永年にわたり統計調査に尽力された統計功労者に対し表彰状などを贈呈。また、春の褒章受章者・国県による各種表彰受賞者・県統計グラフコンクール入賞者を披露し、大会宣言を採択しました。

■女性団体連絡協議会が総会と講演会を開催



5月19日、アルテリオ集会室で、ちくせい女性団体連絡協議会（しもだて女性団体連絡協議会を改称）が総会を開催しました。総会終了後には、県知事公室女性青少年課の橋本由美子課長補佐を講師に迎え『少子高齢化と男女共同参画』と題する講演を実施。参加者約100人が男女共同参画について理解を深めました。

■春の園遊会に富山県三市長が出席

4月27日、天皇、皇后両陛下主催の『春の園遊会』が東京・元赤坂の赤坂御苑で開かれました。本市からは富山県三市長が招かれ、各界の功労者約2,000人とともに出席しました。

広がる自警団結成の動き

みんなでつくる安全・安心のまち



大田小学校児童の下校を見守る『野殿セキュリティ・プロジェクト』のメンバー

現在、全国で地域住民による自警団が結成され、ここ筑西市でも、警察庁の平成18年度『地域安全安心ステーション』モデル事業に指定された『野殿セキュリティ・プロジェクト』（杉山政信代表）など、活発に活動する団体が増えつつあります。

犯罪を未然に防ぎ、安全で安心して暮らせるまちを実現するためには、『自分たちのまちは自分たちで守る』という意識と、地域ぐるみでの自主防犯活動が大切です。

自警団活動のねらい

最近地域の連帯感が希薄になってきたといわれています。泥棒や不審者にとって、地域の連帯感は非常に脅威。コミュニティづくりが盛んな地域ほど犯罪数が減少しています。

自警団活動の真のねらいは、防犯活動を通して、犯罪弱者（子どもや女性、お年よりなど）を含めた地域の連帯を再生することにあります。

自警団結成を応援します

市民安全課では『自警団結成促進助成事業』として、防犯活動などを実施しようとする団体に助成を行っています。

対象事業

概ね自治会区域か小学校区区域までの範囲で行われる事業

助成額

上限3万円

申請

市役所1階にある市民安全課備え付けの ①申請書、②事業計画書、③収支予算書に、団体構成員名簿（任意様式）を添えて申請してください。

その他

助成が決定した団体については、市民安全課から筑西警察署へ届出をいたします。

【問い合わせ】市民安全課市民安全係 内線240・243